

活動区分	地域活性化型	連携先	その他

～ マイプロジェクトin長田 ～

活動の様子



彩星工科高校で高校生や教員も交えてキックオフ。秋には高校登山部と一緒に高取山登山も実施



キックオフでは、高校生や教員も交えて長田で自分がやりたいことを対話



フィールドワークでは、長田にあるシェア農園も訪問

企画・活動概要

学生ひとりひとりの中にある「自分のやりたいこと」と、長田地域にある課題やあったらいいなと思うことを対話をしながらマッチングし、学生たちが地域の人たちと連携しながら、やりたいこと&地域に喜ばれること(イベント等の活動を想定)を実際に行う。これらの活動を一般社団法人みくもや、Sooo Goodながた、長田区役所などと連携して実施。



一般社団法人みくもやが運営予定の「ユニット422」で作戦会議

経緯・背景・目的

長田区は、神戸市の中で最も人口減少率が高く、空室率も高い。また、事業所数・従業員数も減少の一途であるなど、多くの課題を抱えている。これらの課題を解決するためには、行政としての施策もちろん必要であるが、様々なプレイヤーや住民が関わりながら地域活動を活性化させることが重要との認識から、現状も自治体、団体、地域にある高校、ユースセンターなど多様なプレイヤーが繋がりつつ地域協働活動が行われている。当大学の学生たちが長田地域を活性化させる活動を行っていくことで、新たな地域協働が生まれ、地域での交流創出や地域活性化の一助となることを期待される。



高取山の「中の茶屋」にある投輪場で輪投げイベントを開催

取り組む課題

長田地域は、人口減少や事業所数減少などの明確な課題がある一方、留学生の多さや鉄人28号像や高取山、向上集積などの身近な地域資源が多数ある。これら長田の地域資源と学生たちのやりたいことをマッチングして地域活性化に資する取り組みを行う。



高取山スタンプウォークにからめて多くの方に高取山の地域資源である輪投げを知っていただく

本学(学生)の役割

長田地域でのフィールドワーク、一般社団法人みくもや、Sooo Goodながた、長田区役所、彩星工科高校の高校生との対話などを通じて、長田地域のことを理解し、学生ひとりひとりの中にある「自分のやりたいこと」を長田地域の役に立つ形で実践する。



日本語カフェの様子。正しい日本語を楽しく学べるよう質問ゲームを実施

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

2月に実施された高取山スタンプハイク(長田区役所主催)に乗っかる形で、高取山の歴史あるコンテンツである投輪場を知ってもらうべく輪投げイベントを企画、150名を超える登山客に輪投げを楽しんでもらった。また、普段日本語を使う機会のない長田の日本語学校に通う留学生を対象に日本語カフェイベントを開催。ゲームを通じて正しい日本語を正しく使う機会を提供した。なにもないところから形にする、いわば起業と同様のプロセスの活動は、形にするまで時間がかかり困難を極めたが、各所からの協力を自ら動いて取り付け、実現までこぎつけた。学生たちは、活動を通じてやり抜く力を身につけた。



留学生に加え、神戸市役所、日本語学校の先生など多様なメンバーが参加

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



商学部
経営学科
講師
岡田 恵実(オカダ エミ)

<専門・担当科目等>
教養特講Ⅰ(起業家を知る)、教養特講Ⅱ(起業・事業承継)、中小企業論、ビジネスプラン論 等

岡田恵実ゼミナール(通称・たえみゼミ)は、起業やプロジェクトを切り口に学生ひとりひとりが自分の人生を自分でつくり、未来に向けて行動することを目指しています。自分自身の思いに基づいたマイプロジェクトや社会共創活動の実践を積極的に行っています。

<関係者・企業等>

Sooo Good ながた
西山 泰(ニシヤマ ユタカ)